

カリキュラム区分		3カリ			シラバス区分		大学院		
科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）		時間	単位
		学年	学期						
専門分野	M208	1年	通年	看護学	選択	看護教育学・技術学演習		60	2
						Seminar on Nursing Education & Nursing Arts			
担当教員									
野本 百合子		徳永 なみじ		窪田 静		北川 恵			
関連するDPキーワード（看護学専攻）									
☐	① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。								
☐	② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。								
☐	③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。								
☐	④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
☐	⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。								
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
関連するDPキーワード（医療技術科学専攻）									
	① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。								
	② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。								
	③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。								
	④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
	⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。								
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
授業目的									
根拠に基づいた看護学教育の展開、あるいは看護技術の実施に向けて、看護教育学特論Ⅰ・Ⅱ、あるいは看護技術学特論の学習内容を基盤に、看護専門職への看護基礎教育・継続教育・看護技術教育に関わる現象のうち、自らの興味・関心から研究課題を明確にし、さらなる専門的な知識を修得する。そのために、自らの興味・関心に基づく研究課題に関連する国内外の先行文献クリティークを通じて、研究課題の設定や研究方法論などに関する知識を深め、多職種が協働する実践現場における課題の解決に活用できる成果を産出するための研究の進め方を学習する。また、自らの興味・関心のある現象を言語化し、修士研究に発展できる研究課題を明確化する。									
到達目標（授業目標）									
① 自らが興味・関心のある現象に関連する文献を検索することができる。 ② 検索された文献を確認し、自らが興味・関心のある現象との関連から詳細に検討すべき文献を選定できる。 ② 選定した文献と自らが興味・関心のある現象を照合することを通して、自らの研究課題を特定し、言語化して他者に説明できる。 ③ 文献クリティークの考え方・方法を修得し、看護学研究の課題を明確化するために必要な態度を修得できる。 ④ 英文講読を通して海外の研究内容を把握し、わが国の看護学研究との類似点、相違点について説明できる。 ⑤ ①から④の目標達成を通して、自らの修士研究テーマの方向性を決定できる。									
回	授業計画（項目・内容与方法・担当者）								
1回	ガイダンス〔講義・個人ワーク〕－履修方法の説明と授業計画立案（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）								
2回	看護教育学の理解〔講義〕－看護教育学の理念と看護教育学研究の成果への理解（野本百合子）								
3回	文献クリティークに向けて－文献の読み方・英文文献の選定と読み方〔講義・討議〕（野本百合子・徳永なみじ）								
4回	研究課題につながる可能性のある現象の言語化と関連知識の確認①〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）								
5回	文献クリティーク①－興味・関心のある現象に関連する文献の検討〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）								

6回	研究課題につながる可能性のある現象の言語化と関連知識の確認②〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）									
7回	文献クリティーク②－興味・関心のある現象に関連する文献の検討〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）									
8回	研究課題につながる可能性のある現象の言語化と関連知識の確認③〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）									
9回	文献クリティーク③－興味・関心のある現象に関連する文献の検討〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）									
10回	研究課題につながる可能性のある現象の言語化と関連知識の確認④〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）									
11回	文献クリティーク④－興味・関心のある現象に関連する文献の検討〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）									
12回	研究課題につながる可能性のある現象の言語化と関連知識の確認⑤〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）									
13回	文献クリティーク⑤－興味・関心のある現象に関連する文献の検討〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）									
14回	中間まとめ－研究課題との関連現象と文献クリティーク〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）									
15回	研究に向けた課題の焦点化と研究の意義・目的・方法論の確認⑥〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）									
16回	文献クリティーク⑥－興味・関心のある現象に関連する文献の検討〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）									
17回	研究に向けた課題の焦点化と研究の意義・目的・方法論の確認⑦〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）									
18回	文献クリティーク⑦－興味・関心のある現象に関連する文献の検討〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）									
19回	研究に向けた課題の焦点化と研究の意義・目的・方法論の確認⑧〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）									
20回	文献クリティーク⑧－興味・関心のある現象に関連する文献の検討〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）									
21回	研究に向けた課題の焦点化と研究計画の構想⑨〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）									
22回	文献クリティーク⑨－興味・関心のある現象に関連する文献の検討〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）									
23回	研究に向けた課題の焦点化と研究計画の構想⑩〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）									
24回	文献クリティーク⑩－興味・関心のある現象に関連する文献の検討〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）									
25回	愛媛県看護教員継続教育研修会の参加①〔講演・グループワーク・運営への参加等〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）									
26回	愛媛県看護教員継続教育研修会の参加②〔講演・グループワーク・運営への参加等〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）									
27回	看護教育学に関連する学術集会への参加①〔講演・研究発表の聴取等〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）									
28回	看護教育学に関連する学術集会への参加②〔講演・研究発表の聴取等〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）									
29回	研修会・学術集会参加による学習成果のまとめ〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）									
30回	学習成果の総括・研究計画（案）の提示〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）									
成績評価方法及び基準										
発表課題レポート（60％）、プレゼンテーション・質疑応答（40％）の合計により、評価する。トータル60点以上を合格とする。										
教科書		・舟島なをみ編：看護学教育における授業展開－質の高い講義・演習・実習の実現に向けて ・舟島なをみ編：院内教育プログラムの立案・実施・評価 第2版、医学書院								
参考図書等		・杉森みどり・舟島なをみ：看護教育学 第7版、医学書院 ・Gertrude Torres他著、近藤 潤子他訳：看護教育カリキュラム－その作成過程、医学書院 ・梶田 聡一：教育評価 第2版補訂2版、有斐閣双書 ・西岡 加名恵、石井 英真、田中 耕治：新しい教育評価入門〔増補版〕：人を育てる評価のために、有斐閣コンパクト ・Donald A. Schon著、佐藤学他訳：専門家の知恵－反省的実践家は行為しながら考える、ゆみる出版								
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）										
文献講読については、受講生間で相談して担当部分を決定の上、担当箇所の内容をまとめて事前レポートを提出し、授業時にプレゼンテーション・質疑応答を実施する。そのため、事前に指定文献の担当箇所を精読してレポートを作成、提出するための時間を要する。また、担当箇所の内容を理解するために、必要に応じて追加して文献を確認し、精読する必要がある。 授業計画の立案は、学生自身の過去の実践や新たな取り組みなどについて、全体像を描きつつ、自己の担当授業の展開を考える。自身の教育経験がない場合は、学習経験を前提として、より効果的な仮想の授業計画等を作成する。										
関連科目										
前科目	M103	生涯教育学特論	M205	看護教育学特論Ⅰ	M206	看護教育学特論Ⅱ	M202	看護研究方法論Ⅰ	M203	看護研究方法論Ⅱ
後科目	M227	特別研究Ⅰ	M228	特別研究Ⅱ						
実務家教員										
看護師（医療機関）		野本 百合子		徳永 なみじ		窪田 静		北川 恵		

備考	※基盤看護分野の専攻学生には「必修科目」					